

DPRLu-5W 赤色レーザー・シート光源 発売

(株)日本レーザー(本社:東京都新宿区西早稲田 2-14-1、電話 03-5285-0861、社長:近藤宣之)は、2016年5月25日より開催される「人とくるまのテクノロジー展 2016 横浜」で、新しい赤色可視化光源 DPRLu-5W を出展し、販売を開始する。

本製品は、実績あるシートレーザー光源 DPGL シリーズに新たに加わった赤色光出力モデルである。「均一な反射率」を特徴とし、既存モデルの緑色レーザーに比べて、レーザー粒子の濃度ムラや粒径の大小による反射率の差を抑え、粒子映像密度が高く均一なコントラストの画像を撮影する事ができる。これにより、濃度ムラによる模様や低密度部分での PIV ベクトルエラーを抑える事が可能になる。

また緑色光は、壁面に当たると強い鏡面反射や乱反射が発生し、この光によるハレーション現象により、境界付近の観察や PIV 解析が困難であった。それに対してブロードバンド赤色光は鏡面反射や乱反射が低く、境界ギリギリまで可視化する事ができる。



流れの可視化レーザー-DPGL/DPRL シリーズ

DPGL/DPRL シリーズは、ハイスピードカメラなどで流体を可視化するのに適したシートレーザー光源である。流体の可視化実験での利用前提として、手軽な 100mW から大きな風洞でも利用できる 2W のモデルまでは標準仕様でダイレクトシート光学系が、3W 以上の大型風洞向けモデルはファイバーシート光学系がセットアップされている。

どこにでもある 100VAC 電源で駆動し、空冷式のため何処でもご利用が可能。旧来の可視化に利用されていたレーザーは、大量の冷却水と大電力を消費するためランニングコストが高く、またサイズが大きく冷却水が必要なため設置に制限があった。DPGL/DPRL シリーズは軽量コンパクトな筐体で高出力のため、流体の可視化に利用される実験施設はもちろん、どこへでも持ち運んで実験を実行できる。振動にも強いいため、100V 電源さえあれば自動車内部やなどでも利用する事ができる。さらに小型のため、他に比べて大幅に低価格なのも特徴である。

新モデル 赤色可視化レーザー DPRLu-5W

<特長>

- 低い正反射光
- 均一な反射率
- ダイレクトシート光学系
- 100VAC 動作
- グリーンレーザーと電源共有
- 安心の日本国内設計・製造

<主な仕様>

- 出力 ~5 W
- 発振モード CW 出力可変(連続発光)/パルス発振対応(ストラドリング撮影対応)
- 波長 640 nm (中心波長)
- 冷却方式 空冷
- 動作電圧 100 V / 1A
- 光学系 シート光学系

以上

株式会社 日本レーザー〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-14-1 URL <http://particle.japanlaser.co.jp/>**本リリース製品の営業担当 レーザー機器部**電話 03-5285-0863 FAX 03-5285-0860 E-Mail : piv@japanlaser.co.jp**本リリースについてのお問合せ 販促業務部**電話 03-5285-0861 FAX 03-5285-0860 E-Mail : hashimoto@japanlaser.co.jp